

## 国土交通大臣賞

受賞者名

鹿島建設株式会社 関西支店 四条高倉工事事務所

所在地

京都府京都市

受賞テーマ

周辺環境を考慮したリデュース・リユースと建設副産物のリサイクル率100%達成（混廃ゼロ）を目指した現場運営

同現場は老朽家屋の密集地域に立地しているため、周辺に対する環境負荷低減は必須であった。そこで、以下のようなリサイクル率100%に向けた施工計画と現場運営を行った。

発生する廃棄物が処理業者でどのように再生されるかを把握し、再生物が同じである場合、それに含まれる物質は混ざってもOKとし、分別品目を極力少なくして分別作業の効率化を図った。

内装工事において、単一工種毎の発生廃棄物内容を把握し、工種をフロア管理する事で、廃棄物をフロア毎に効率的に分別した。フロア毎に分別した廃棄物の回収・運搬は、一括揚重工の業務区分に取り込む事とし、物理的に混ざらないシステムとした。

通常どうしても混合廃棄物となる掃き掃除のゴミの分別・リサイクルを図るために、掃き掃除は濡れたオガクズの使用を徹底し、再生困難なコンクリートの粉を汚れたオガクズに変えた。そして1週間溜めた掃き掃除ゴミを作業員の力でオガクズ・コンクリートがら・木屑・廃プラ・スクラップ・紙屑に完全に分別し、汚れたオガクズは、固形燃料のカロリー抑制剤として有効活用した。

同現場は、廃棄物用コンテナの設置が困難な程の狭小敷地で、ゴミ置場を定置できない為、全ての廃棄物を屯袋・キャスター付きパレットに収集し、フォークリフトと人力で品目毎にタイムリーに搬出する手法を確立した。

原設計では、躯体が全て在来工法であったが、現場からできる限りPC化への設計変更を提案し、現場で発生する廃棄物を大幅に削減した。また、内装ボードは長尺ボードを使用する事で、端材を減らす事ができた。



人力による掃き掃除ゴミの分別